

(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人エール・フォーユー		
事業名	人が集まる「快護」の職場を考えるワーク WORK プロジェクト		
助成事業区分	協働助成事業（一般型） 【県政課題：介護に対するイメージアップの促進】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	484,929 円
		うち助成金額	484,929 円



■ 事業目的

介護の仕事の人材不足が叫ばれている中、新たな人材確保は喫緊の課題となっている。既存の介護現場で働く人たちはもちろん、これまで介護・福祉とは関わりの少なかった分野の学生や住民、外国人も含めた、多様な人たちの参加のもとに、介護の仕事の新たな魅力や可能性を掘り起こし、求人など人材確保にも生かすことができるアイデアやアクションを生み出す場をつくり、その成果を今後の介護の現場で生かしていくことを目的とする。

■ 実施内容

1 回目 11 月 27 日(日)

13 時 30 分～17 時 参加者 21 名

2 回目 1 月 29 日(日)

13 時 30 分～17 時 参加者 21 名

(やまがたクリエイティブセンター Q1 にて)

山形県内の介護事業所職員、介護施設で働く外国人や一般県民などを対象に、“人が集まる職場とその発信”をテーマにワークショップを 2 回実施した。1 回目、前半に「理想の介護の職場を実現

するためのアイデア創発」として参加者同士でワークをし、後半では「アイデアから企画へ」をテーマにグループ分けして 2 回目に繋げるようなアイデアの企画化についてワークをした。2 回目は 1 回目の内容を基に「快護の職場を実現するためのアイデア創発」をテーマにしたワークを前半にし、4 つのチームテーマを設定した。チームは①チャレンジ・キャリア・笑顔、②つながり・笑顔、③ユーモア・元気・リラックス、④わがまま・私らしく・自己実現の 4 つです。後半は「快護の職場に向けた取り組みの企画化」として、介護される側に対して笑顔を咲かせるために頑張る介護職が、介護する側だって笑顔にしたい、リラックスしたい、わがままをしたい、そんな思いを実現するためにチーム毎にアイデアを考えて企画化し、どんなアクションをするとよいかをまとめて発表した。

■ 事業の成果及び今後の展望

① 事業の成果

福祉に興味のある市議がプライベートで参加し、行政としても何

ができるかを考えてくれていた。また、一般の方などは改めて日本の介護職の置かれている大変さを知ったのもっと多くの人に介護職の現状を伝えるべきとの意見もあり、介護職へのイメージアップの前に、現在介護の現場で働く介護職の皆さんが「楽しい」「大変でもやりがいがある」「労働に対する対価が公平だ」と言える職場づくりをしていく必要があると認識した。また、どこか 1 つでも「介護」ではなく「快護」の職場づくりに取り組み実績をつくることで、他施設にも相乗効果をもたらすので、このイベントを継続することで多くの効果が期待できる。

② 今後の展望

今回のプラットフォーム化のノウハウを様々な分野に共有し、県内全体で課題解決に取り組める体制をつくり、今後はこのプロジェクトに他分野が参入することで山形が全国のトップランナーとなり、介護人材の確保、魅力的な職場づくり、さらには地域の一人ひとりが幸せに暮らしていける社会を目指す。